

謹賀新年



猿払村議会議長
山森 清志

昨年を振り返りますと、ロシアのウクライナ侵略に加え、イスラエルとパレスチナの衝突が起き、世界は2つの戦火を同時に抱え込む情勢不安が続く中、エネルギー・原材料価格の高騰や円安の進行など、国内外の社会経済の動

村民の皆様、明けましておめでとございます。令和6年の新春を皆様とともに迎えられることを、心よりお慶び申し上げます。

また、平素より村議会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。村議会は昨年4月の改選により、議員8名のうち新人が3名となり、開村以来、初の女性議員が誕生するなど、新たな体制の下で始動いたしました。議員それぞれ

向は、極めて不安定かつ不透明な状況でありました。これにより村民生活はもとより、飼料・肥料価格の高騰による酪農業をはじめ、村の経済活動への影響が続いております。さらに、東京電力福島第一原子力発電所のALPS処理水の海洋放出により、中国が日本の水産物を全面禁輸に踏み切ったことを受け、ホタテの生産現場における長期的な影響も懸念されており、その動向を注視しているところであります。

一方、私たちの暮らしに未曾有の困難をもたらした新型コロナウイルス感染症は、昨年5月8日に感染症法上の位置づけが「5類」に引き下げられ、徐々に日常生活を取り戻しつつあり、長らく休止されていた行事やイベントが再開され、社会活動や観光・レジャーなどで人々の賑わいが回復するなど、明るい兆しも感じられました。また、本村では開村100周年を迎えるにあたり、記念式典をはじめとした様々な記念事業が開催

境や安心できる保健、介護、医療体制の取り組みを重要視していきたいと考えております。

猿払村は、昨年開村100周年を迎えることができました。これも先人の皆様が多岐の難局を乗り越えて、今日の猿払村を築いてくださった断の努力と熱意の賜物であります。この記念すべき年を一つの節目として、次の10年、50年、そして100年に向けて、「これまででも、これから、このむらで」のキャッチコピーにありますように、村民の皆様とともに、101年目の新たな歩みを進めてまいります。

され、村の一世紀という時代の節目に立ち会うことができ、大きな慶びの年でもありました。

さて、令和6年は十千十二支でみると甲辰(きのえたつ)の年にあたり、「上昇し勢いを増しながら成長していく年」ともいわれております。本村は村政101年目の新たな一歩を踏み出す年であり、次代の発展に向けて力強く前進する一年となりますよう、村議会といたしまして、村民の皆様のご意見を村政に反映させ、山積する諸課題の解決に向けて全力を尽くし、執行機関への監視機能のみならず、「両輪」として協調・協力し邁進してまいります。皆様には、今後とも村議会に対し、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして幸せで実り多い、希望に満ちた年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



猿払村長
伊藤 浩一

村民の皆様、新年明けましておめでとうございます。令和6年の新春を健やかに迎えたいことを心からお慶び申し上げますとともに、平素から村政に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症は、昨年5月より「5類感染症」となり徐々に日常を取り戻しつつあります。長きにわたり日常生活に制約がある中、ワクチン接種や感染予防対策など、皆様のご協力のおかげで、長らく休止されていた行事やイベントの再開、また猿払村開村100周年記念式典も無事に開催することができました。この場をお借りして、お力添えいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、昨年はスポーツや文化関連を中心に明るいニュースがありました。特に、野球の世界大会WBCでは「侍ジャパン」が3大会ぶり3回目の優勝を果たし、連日声援を送られた方も多いのではな

いでしようか。また、将棋界では「藤井聡太」さんが史上初となる八冠を達成するなど、私たち国民に勇氣と希望を与えてくれました。

一方で、東京電力福島第一原発の処理水海洋放出により、中国が日本産水産物の輸入を全面停止としたほか、追い打ちをかける物価高騰は、漁業・酪農業の基幹産業や商業など、村民生活のあらゆる方面において影響を及ぼしておりますことから、村といえども、停滞した地域経済の回復を念頭に置いた施策の推進に努める所存であります。

本年も次代を担う若い世代が村に誇りと愛着を持ち、人との絆を大切にしながら輝き、幸せが実感できる村づくりを進めてまいります。そして、村民の皆様の声を大切にしながら、「誰にでもやさしい まちづくり」の実現に向け、生活基盤向上はもとより、自然豊かな環境でのびのびと子育てができ、そして質の高い教育を受けられる環

境や安心できる保健、介護、医療体制の取り組みを重要視していきたいと考えております。

猿払村は、昨年開村100周年を迎えることができました。これも先人の皆様が多岐の難局を乗り越えて、今日の猿払村を築いてくださった断の努力と熱意の賜物であります。この記念すべき年を一つの節目として、次の10年、50年、そして100年に向けて、「これまででも、これから、このむらで」のキャッチコピーにありますように、村民の皆様とともに、101年目の新たな歩みを進めてまいります。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、希望あふれる素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。